

I 概況

1 内政

第33回ハバナ国際見本市が開催され、世界70ヶ国以上より約900社が出展した。同見本市において、新たな外国投資機会のリストが公表された。

2 外交

(1) ラウル・カストロ国家評議会議長がメキシコを公式訪問した。

(2) 第1回日キューバ官民合同会議がハバナにおいて開催された。

(3) ビルサック米農務長官がキューバを訪問した。

(4) マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣がベトナムを訪問し、第33回キューバ・ベトナム政府間委員会に出席した。

(5) キューバ人移民問題に関して協議された中米統合機構 (SICA)+4 会合にロドリゲス外相が出席した。

(6) ヴィエイラ伯外相がキューバを公式訪問した。

II 内政

1 第33回ハバナ国際見本市

(1) 11月2日ー7日、ハバナ市内にて第33回ハバナ国際見本市が開催され、世界70カ国以上から過去最高となる約900社が参加した。米キューバ関係の改善を受け、米企業約25社も出展した他、7年ぶりに日本パビリオンが設けられ、同パビリオン以外も含め計9社の日本企業が出展した。

(2) 3日には、マルミエルカ外国貿易・外国投資 (MINCEX) 大臣が2015年版の外国投資機会リストを発表し、マリエル開発特区における外国投資対象案件及びキューバのその他地域における外国投資対象案件計326件 (投資総額81億7300万ドル) も公表された。案件数は昨年度に比べ80件近く増加したものの、投資総額はおよそ5億ドル少なくなっている。

III 外交

1 対米関係

(1) 第33回ハバナ国際見本市の開催に合わせ、ブリリアント全米商工会議所副会頭を始め、50名に上る米国企業関係者がキューバを訪問した。3日、ハバナにおいて米キューバ・ビジネス委員会が開催された。来訪企業の中には、スタンリー・モルガン、キャタピラー、ボーイング、アメリカン航空、ハインツ、フォックス・ニュース等が含まれており、電話通信会社の Sprint 社は、キューバ通信電話公社 ETECSA とローミング・サービスのための第1回協定に署名した。

(2) 9日、両国間の安全及び法の適用と執行に関する二国間協議が開催された。10日は第2回二国間委員会が開催された。第2回二国間委員会は、9月11日の第1回に続く

もので、ビダル・キューバ外務省米国総局長とアレックス・リー米国務次官補代理がそれぞれの代表団の代表を務めた。

(3) 11日－13日、ビルサック米農務長官がキューバを訪問した。ロドリゲス農業大臣との会談において、両国が関心を有する事項や、農産品の二国間取引が可能となった場合の可能性についても意見交換が行われた。また、同長官は、カブリサス閣僚評議会副議長、ロドリゲス外務大臣とも会談し、キューバの輸出入やキューバの農業分野への米国の関心、米国による対キューバ経済制裁により両国の貿易にもたらされている障壁等について意見交換を行った。

(4) 30日、ワシントンで米キューバ移民対話が開催され、移民協定の実施状況及び不法移民への取り組みについて意見交換が実施された。

2 ラウル・カストロ国家評議会議長のメキシコ公式訪問

(1) 6日－7日、ラウル・カストロ議長は、ペニャ・ニエト墨大統領の招待に応じ、ユカタン州都メリダ市を訪問した。同議長が2008年に国家元首となってから初めてのメキシコ訪問となった。

(2) 首脳会談の後、両者は以下の二国間協力に関する文書に署名した。

- ・合法的で安全且つ秩序立った移民の移動の保証に関する覚え書き
- ・外交官の研修・学術交流に関する覚え書き
- ・2016-2017年の観光分野における協力プログラム
- ・農業、畜産、農村開発、漁業、食糧及び食品産業における協力プログラム
- ・基礎教育分野における技術協力に関する書簡

3 中国海軍艦隊のハバナ港寄港

キューバ中国の外交関係樹立55周年を記念し、9日－14日、中国海軍の軍艦3隻がハバナ港に寄港した。

4 第1回日キューバ官民合同会議の開催

(1) 9日、ハバナにおいて第1回日キューバ官民合同会議が開催され、ヌニェス外国貿易・外国投資省次官と高瀬寧外務省中南米局長がそれぞれの団長を務めた。日本からは、政府関係者及び日本キューバ経済懇話会(JCEC)メンバーを含む民間企業関係者ら総勢約60名が参加、キューバ側からは、外国貿易・外国投資省、外務省、産業省、エネルギー・鉱業省、キューバ国営公社など約30名が参加し、会議の閉会にはカブリサス閣僚評議会副議長も出席した。

(2) 日本側はビジネス環境整備に向けた働きかけを行った他、参加各社が具体的なビジネスの提案やビジネスを進める上での課題等について発表を行い、双方で活発な意見交換が行われた。また、キューバ側は、キューバにおける新たな投資政策・機会について説明を行った。

(3) 来年東京で第2回会議を開催することが合意された。

5 マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣のベトナム訪問と第33回キューバ・ベトナム政府間委員会の開催

(1) マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣は、キューバ・ベトナム外交関係樹立55周年を記念しベトナムを訪問し、16日－19日に開催された第33回キューバ・ベトナム政府間委員会 (Comision Intergubernamental) に出席した。ベトナム側代表は Trinh Dinh Dung 建設大臣が務めた。

(2) 両国は、ベトナムにおいてキューバで製造される薬品やワクチンを商品化し販売するため、二国間委員会 (comite binacional) の創設と医薬品・ワクチン等の管理・規制を行う管理業者間の協力強化について協議した。

(3) また、サン国家主席のキューバ訪問時に署名された銀行間の協定に基づき、ベトナムの銀行がキューバとの貿易・取引により積極的に参加し、キューバ市場で経済活動を行うベトナムの投資家や企業家を財政的に支援するため、キューバ・ベトナム銀行間協力を強化するよう意見交換を行った。

(4) 併せて、スポーツ交流に関する協定に署名がなされ、指導者・トレーナー・専門家・ナショナルチーム間の交流やセミナーの開催等を通じスポーツ分野での両国関係を拡大することが決定した。

6 キューバ人移民問題とロドリゲス外相のエクアドル、ニカラグア、エルサルバドル訪問

(1) コスタリカ、ニカラグア両国国境のコスタリカ側で、第三国を經由して米国への入国を試みるキューバ人移民が数千人規模で滞留し、コスタリカ・ニカラグア間で外交問題に発展していることを踏まえ、ロドリゲス外相は (キューバ国籍者に対し査証申請なしでの入国を認めている) エクアドル及びニカラグアを訪問し、各外相と意見交換を行った他、24日、移民問題を協議するためにエルサルバドルで開催された中米統合機構 (SICA) + 4 (キューバ、エクアドル、コロンビア、メキシコ) に参加した。

(2) 本問題に関し、キューバ政府は、関係諸国の政府と連携し、キューバ国民の健康と安全に配慮しつつ、早急且つ適切な解決方法を模索している旨強調し、併せて、キューバ人地位調整法、とりわけ「ドライ・フット、ウェット・フット政策」、「キューバ人医師受入れプログラム」と呼ばれる米国のキューバ移民政策が、キューバからの不法且つ不安定で無秩序な移民発生を助長しているとして、米国の移民政策を非難した。また、米キューバ関係の外交関係再樹立や二国間対話プロセスの進捗にも拘わらず、米政府が同政策を変更せず継続しているのは、現在の両国関係に資すものではないと指摘した。

7 ヴィエイラ伯外相のキューバ訪問

(1) 25日、ヴィエイラ伯外相がキューバを公式訪問し、ラウル・カストロ国家評議会議長を表敬した他、ロドリゲス外相とのキューバ伯外相会談、マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣との会談を行った。

(2) キューバ伯外相会談においては、経済・貿易、科学、分野、スポーツといった分野での二国間協力の更なる発展に加え、ルセーフ・ブラジル大統領が推進する「より多くの

医師を（Mas Medicos）」プログラムにより、現在、約12,000人のキューバ人医師が参加している保健分野における二国間協力について、更に強化することが協議された。

（3）マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣との会談においては、二国間協力案件やブラジル・キューバ商工会の設立、キューバとメルコスールの経済補完協定（ACE-62）の拡大が検討された。

7 要人往来

（1）来訪

米商工会議所副会頭

デ・ギンドス・スペイン経済・競争力相

スロバキア経済大臣

仏外国通商・観光大臣

ビルサック米農務長官

トリホス・パナマ元大統領

アンゴラ元兵士退役軍人大臣

カタール首長

ブラジル外相

ウルグアイ外相

（2）往訪

ベヘラノ国家評議会副議長のロシア訪問

アラルコン高等教育大臣のフランス訪問

ラウル・カストロ国家評議会議長のメキシコ訪問

ペレス科学技術環境大臣のフランス訪問（COP21参加）

バルデス・メサ国家評議会副議長のアンゴラ訪問（独立記念日式典への出席）

マレロ観光大臣のカナダ訪問

マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣のベトナム訪問

モラレス保健大臣のブラジル訪問

ロドリゲス外相のエクアドル及びニカラグア訪問

ロドリゲス外相のエルサルバドル訪問（中米統合機構 SICA+4 出席）

カブリサス閣僚評議会副議長の仏、スペイン、イタリア、日本訪問

ディアスカネル国家評議会第一副議長のフランス訪問（COP21参加）